



カンパニユラ キーパーナ・シリーズ

学名: *C.medium*

種子粒数の目安(raw): 3,600 から 4,800 粒/グラム

種子粒数の目安(pelleted): 3,700 から 4,300 粒/グラム

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しいプラグ用培地を使用。培地の pH は 5.8 から 6.5、また EC は 0.8 mmhos/cm とする

播種

1 粒または 1 ペレットを各セルに播く。トレイのサイズは 288 穴、あるいはそれよりも大きな容量のトレイを用いる。大きな容量のトレイを用いると、プラグ生産期間が約 1 週余計にかかる。覆土はせず、育苗期間中の立枯れ防止のために殺菌剤を散布する

日長条件

カンパニユラは量的長日植物である。十分に栄養生長をさせ、ステムをバランスよく伸ばせるように、播種後は概ね 2 週から 6 週頃まで 11 時間の短日条件で管理を推奨している

ステージ 1 - 発芽日数は 4,5 日

地温: 発芽温度は 20 から 22°C

光条件: 発芽時には光が必要

水分: ステージ 1 ではやや湿潤の level 4 に維持する

湿度: 幼根が発生するまでは相対湿度を 98%に維持

ステージ 2

地温: 20 から 22°C

光条件: 4,000 から 26,900 ルクス(370から 2,500 f.c.)の範囲

水分: ステージ 2 では、根が培地にしっかり浸透するよう、やや湿潤の level 4から中庸の level 3 で維持する。苗を乾燥させないよう注意する

肥料: 肥料をレート 1(100ppm (N)以下、EC:0.7 mS/cm)で与える

ステージ 3

地温: 16 から 18°C

光条件: 4,000 から 26,900 ルクス(370から 2,500 f.c.)の範囲

水分: ステージ 2 同様、やや湿潤の level4から中庸の level 3 で維持する

肥料: 肥料の濃度をレート 2(100 から 175ppm (N))に上げる。培地の EC は 0.7 から 1.0mS/cm(1:2)、pH は 5.8 から 6.2 で維持する

矮化剤: この段階では矮化剤は用いず、苗の軸が十分バランスよく育つように管理する

ステージ 4

地温: 16 から 18°C

光条件: 4,000 から 54,000 ルクス(370から 5,000 f.c.)の範囲

水分: ステージ 3 と同じ

肥料: ステージ 3 と同じ

定植から収穫/出荷まで

定植密度

平方メートルあたり 64 から 80 本の定植が適当。12.5cm x 12.5 の支持ネットを張る

土壌等

水はけがよく、消毒済みの苗床を使用。土壌の pH は 5.5 から 6.0、また EC は 0.75mmhos/cm とする

温度

昼間温度: 16 から 21°C

夜間温度: 12 から 15°C

照度

温度がちょうどよい範囲内であればできるだけ高く維持する。十分なステムの長さで良質な株を作るには、プラグ育苗段階で 4,000 ルクス(370 f.c.)以上の照度が必要

日長条件

カンパニユラは量的長日植物である。十分に栄養生長をさせ、ステムをバランスよく伸ばせるように、播種後は概ね 2 週から 6 週頃まで 11 時間の短日条件で管理を推奨している。冬場に咲かせる作型をとる場合は、定植後 6 週で長日条件処理を開始する。キク用の電照を使って、午後 10 時から午前 2 時まで暗期中断する

かん水

水分は中庸のレベルを続ける。十分なステムの長さを得るためには、十分な水分と肥料が必要となる。土壌が乾いていると、株ができる前に花芽がきたり、ステムの長さが十分に育ちきらないことがある。ただし過剰なかん水を施してはいけない。茎や根が弱くなり、株が傾いてしまうことがあるので注意する

肥料

カンパニュラは、切花として要求とされるステム長を得るために、十分な栄養分を必要とする。移植後のはじめの4週は、微量元素を含む、汎用の混合型液肥をレート 3(175 から 225ppm(N)、(1.2 から 1.5mS/cm))の濃度でかん水とともに一貫して与える。4週以降は、濃度を 145 から 175ppm(EC:1.0 から 1.2mS/cm)に下げる

PGR(矮化剤)

矮化剤は使わない

ピンチ

ピンチは不要である。ピンチをすると開花まで 2 週余計に要する。また、収穫本数は増えるがステム長が短くなり、ステムの質そのものも損なう

平均的な生産期間

播種から定植まで(288 穴プラグ):

288 穴では 7,8 週。5,6 週の短日条件(11 時間)と低温条件(16 から 18℃)のもとで生産

定植から開花まで: 10 から 14 週

(適切な日長条件と温度域のもとで)

播種から開花まで: 17 から 22 週

(適切な日長条件と温度域のもとで)

※ 適切な照度レベル、温度、日長条件のもとであれば、カンパニュラは周年生産が可能な植物である

病例等

害虫: スリップス、アブラムシ、ハモグリなどに注意

病気: フザリウム、リゾクトニア、サビ病、べト病などに注意

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について:EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合もあります。